

# OXIDE

株式会社オキサイド

2022年2月期第2四半期 決算補足説明資料

(6521 東証マザーズ)

2021年10月14日

# 2022年2月期 第2四半期決算

- ・業績および進捗
- ・事業別売上構成
- ・貸借対照表
- ・今期のこれまでのトピックス
- ・事業別説明【光計測・新領域 / 半導体 / ヘルスケア】
- ・今期計画に対する進捗【人員 / 研究開発費 / 設備投資】

本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。  
本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の想定及び所信に基づく見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。  
実際の業績に影響を与えるリスクや経済動向、業界需要などの不確定要因を含んでいます。  
当社の見込みと実際の業績は異なる場合があります。ご了承ください。

- **業績および進捗**
- 事業別売上構成
- 貸借対照表
- 今期のこれまでのトピックス
- 事業別説明【光計測・新領域 / 半導体 / ヘルスケア】
- 今期計画に対する進捗【人員 / 研究開発費 / 設備投資】

# 第2四半期業績及び

## 2022年2月期通期予想(前回4/12発表)に対する進捗率

(単位：百万円)

	前回予想 (4/12)	2022年2月期		2022年2月期 1H	1Hの進捗率 (前回予想比)
		1Q	2Q		
売上高	4,279	1,154	1,298	2,452	57.3%
売上総利益	1,218	381	434	816	67.0%
販管費	802	258	219	477	59.5%
営業利益	416	122	215	338	81.3%
営業利益率	9.7%	10.6%	16.6%	13.8%	
営業外損益	1	6	1	8	800%
経常利益	417	129	216	346	83.0%
減価償却費合計	326	61	64	125	38.3%

## 2022年2月期 通期業績予想の上方修正

(単位：百万円)

	前回予想 (4/12)	今回予想 (10/14)	増減率
売上高	4,279	4,810	12.4%
売上総利益	1,218	1,583	
販管費	802	1,027	
営業利益	416	554	33.2%
営業利益率	9.7%	11.5%	
営業外損益	1	25	
経常利益	417	578	38.6%
減価償却費合計	326	289	

# 第2四半期業績及び

## 2022年2月期通期予想(今回10/14)に対する進捗率

OXIDE

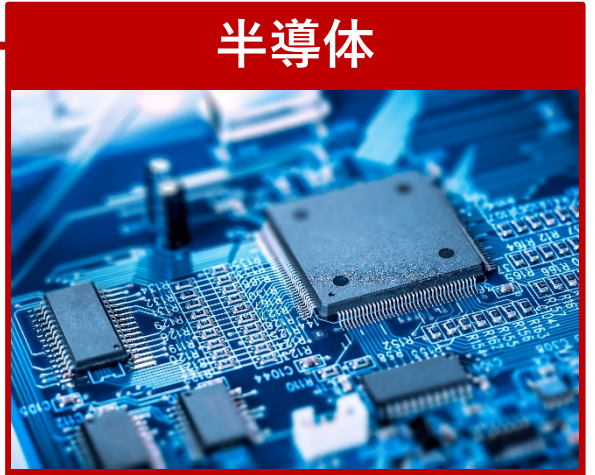
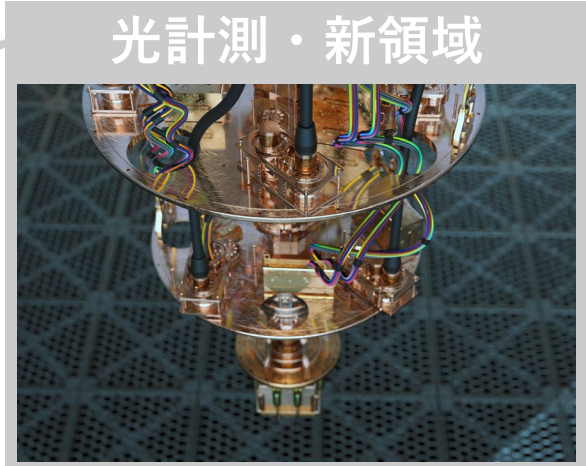
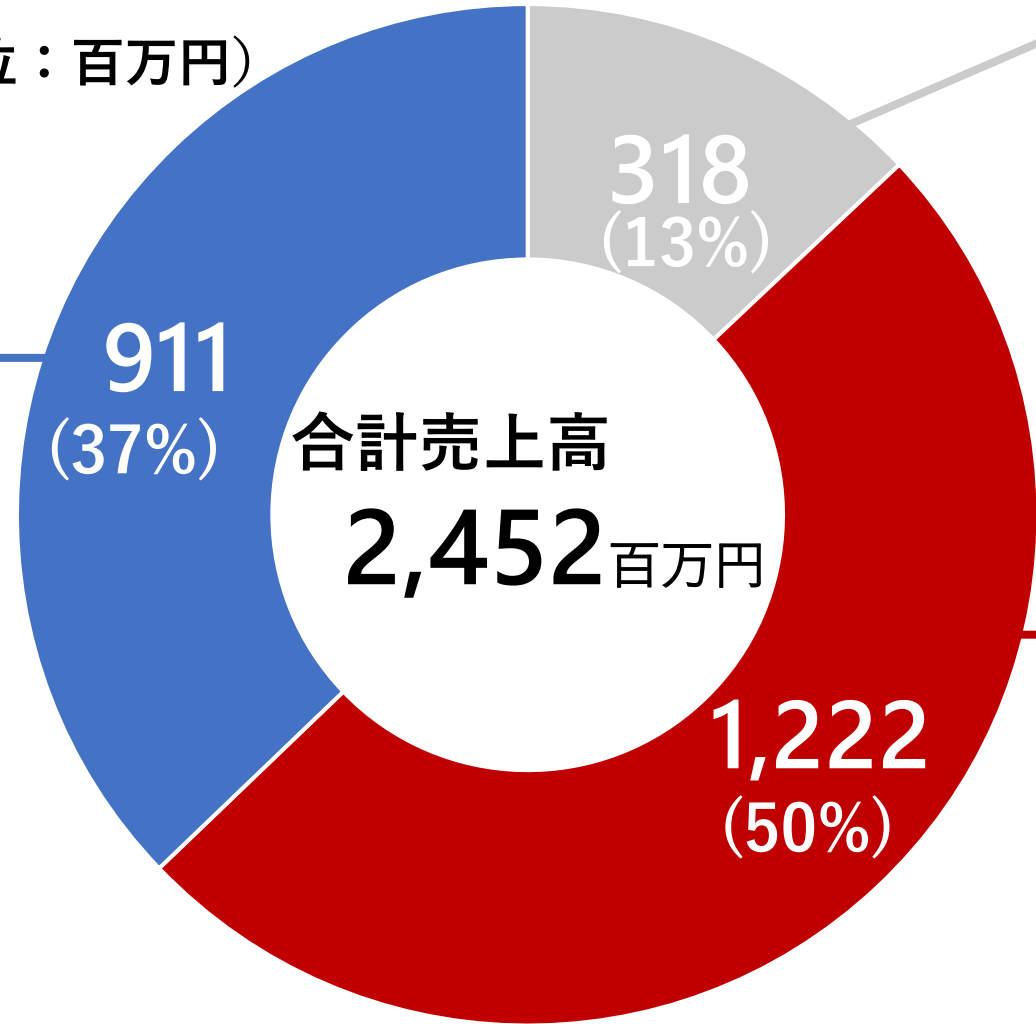
(単位：百万円)

	今回予想 (10/14)	2022年2月期 1Q	2022年2月期	2022年2月期	1Hの進捗率 (今回予想比)
			2Q	1H	
売上高	4,810	1,154	1,298	2,452	51.0%
売上総利益	1,583	381	434	816	51.5%
販管費	1,027	258	219	477	46.4%
営業利益	554	122	215	338	61.0%
営業利益率	11.5%	10.6%	16.6%	13.8%	
営業外損益	25	6	1	8	32.0%
経常利益	578	129	216	346	59.9%
減価償却費合計	289	61	64	125	43.3%

- 業績および進捗
- **事業別売上構成**
- 貸借対照表
- 今期のこれまでのトピックス
- 事業別説明【光計測・新領域 / 半導体 / ヘルスケア】
- 今期計画に対する進捗【人員 / 研究開発費 / 設備投資】

# 事業別売上構成 第2四半期累計

(単位：百万円)

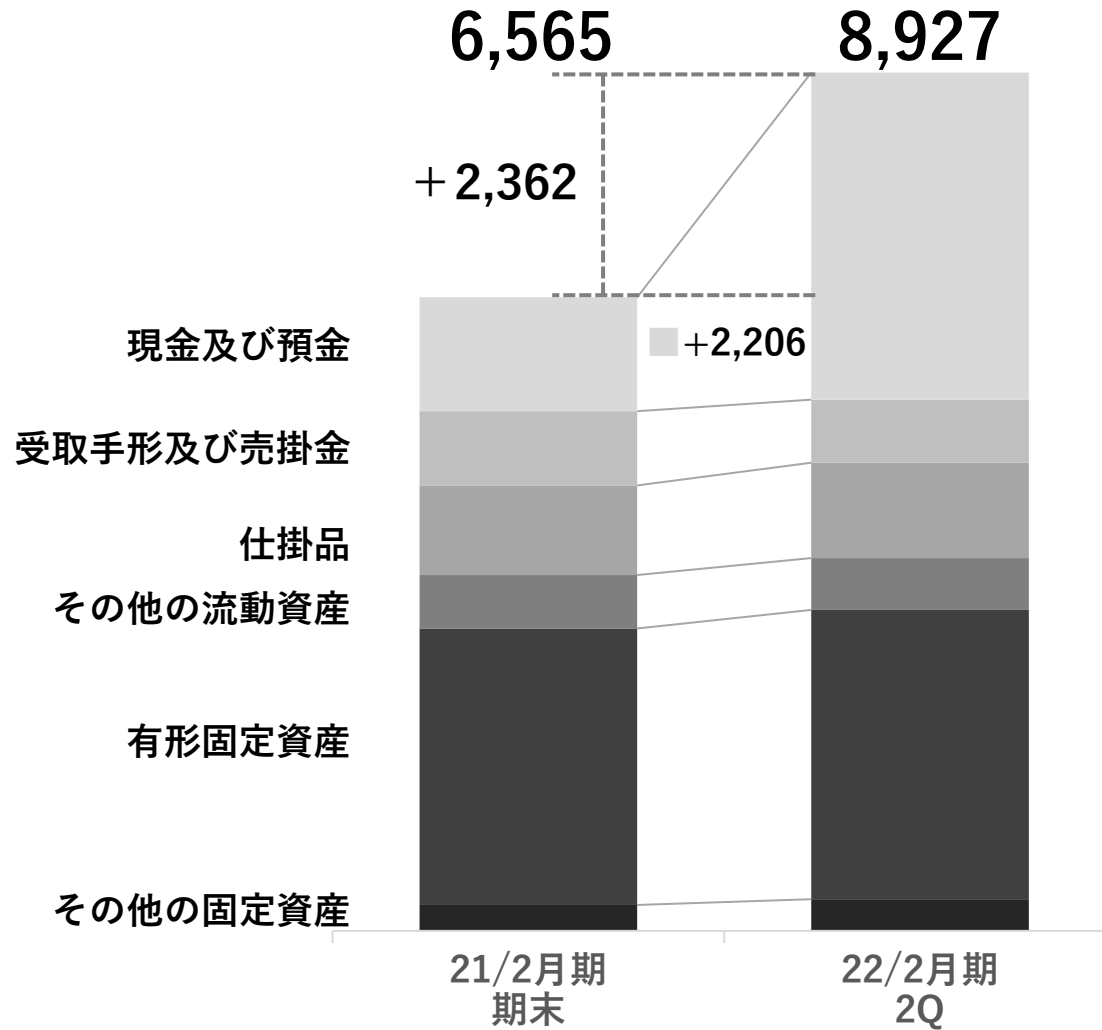




- 業績および進捗
- 事業別売上構成
- **貸借対照表**
- 今期のこれまでのトピックス
- 事業別説明【光計測・新領域 / 半導体 / ヘルスケア】
- 今期計画に対する進捗【人員 / 研究開発費 / 設備投資】

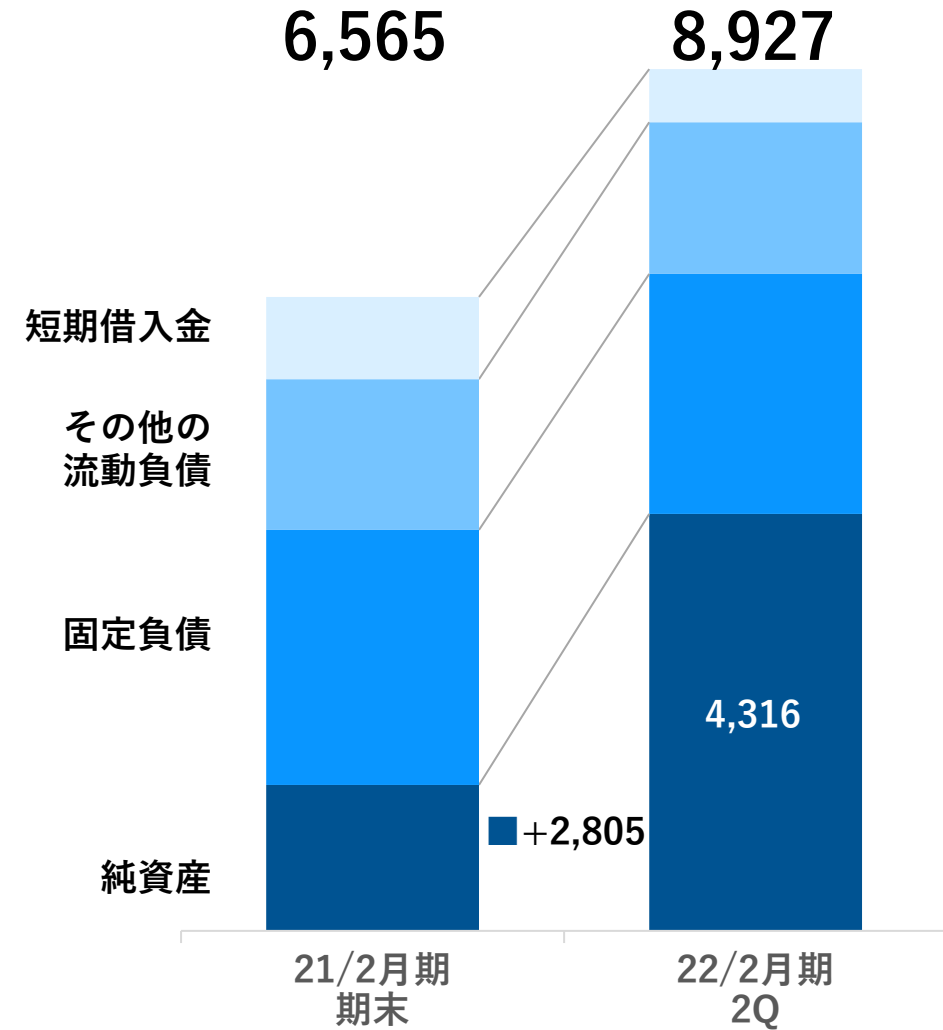
# 貸借対照表

## 資 産



## 負債・純資産

(単位：百万円)



- 業績および進捗
- 事業別売上構成
- 貸借対照表
- **今期のこれまでのトピックス**
- 事業別説明【光計測・新領域 / 半導体 / ヘルスケア】
- 今期計画に対する進捗【人員 / 研究開発費 / 設備投資】

## 今期のこれまでのトピックス

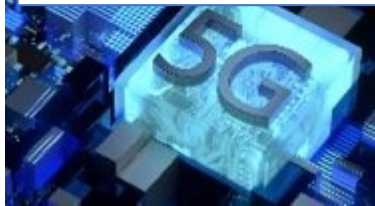
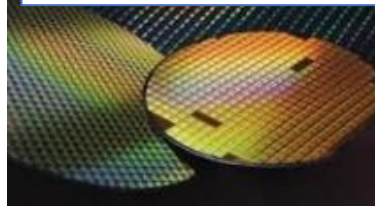





2021年	4月 5日	東京証券取引所マザーズ上場	1Q
	5月28日	第21回定時株主総会	
	6月18日	GaN薄膜成長用 新材料単結晶基板「SAM」サンプル出荷開始についてのプレスリリース	2Q
	6月24日	新製品 フェムト秒レーザ「OneFive ORIGAMI 03XP-3P」国内販売開始についてのプレスリリース	
	7月2日	サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金（2次公募）採択についてのプレスリリース	
	9月14日	新市場区分「グロース市場」選択に関するプレスリリース	3Q
	10月14日	株式会社UJ- Crystalとの資本業務提携に関するプレスリリース	

- 業績および進捗
- 事業別売上構成
- 貸借対照表
- 今期のこれまでのトピックス
- **事業別説明【光計測・新領域 / 半導体 / ヘルスケア】**
- 今期計画に対する進捗【人員 / 研究開発費 / 設備投資】

# 事業別説明【光計測・新領域】

(単位：百万円)

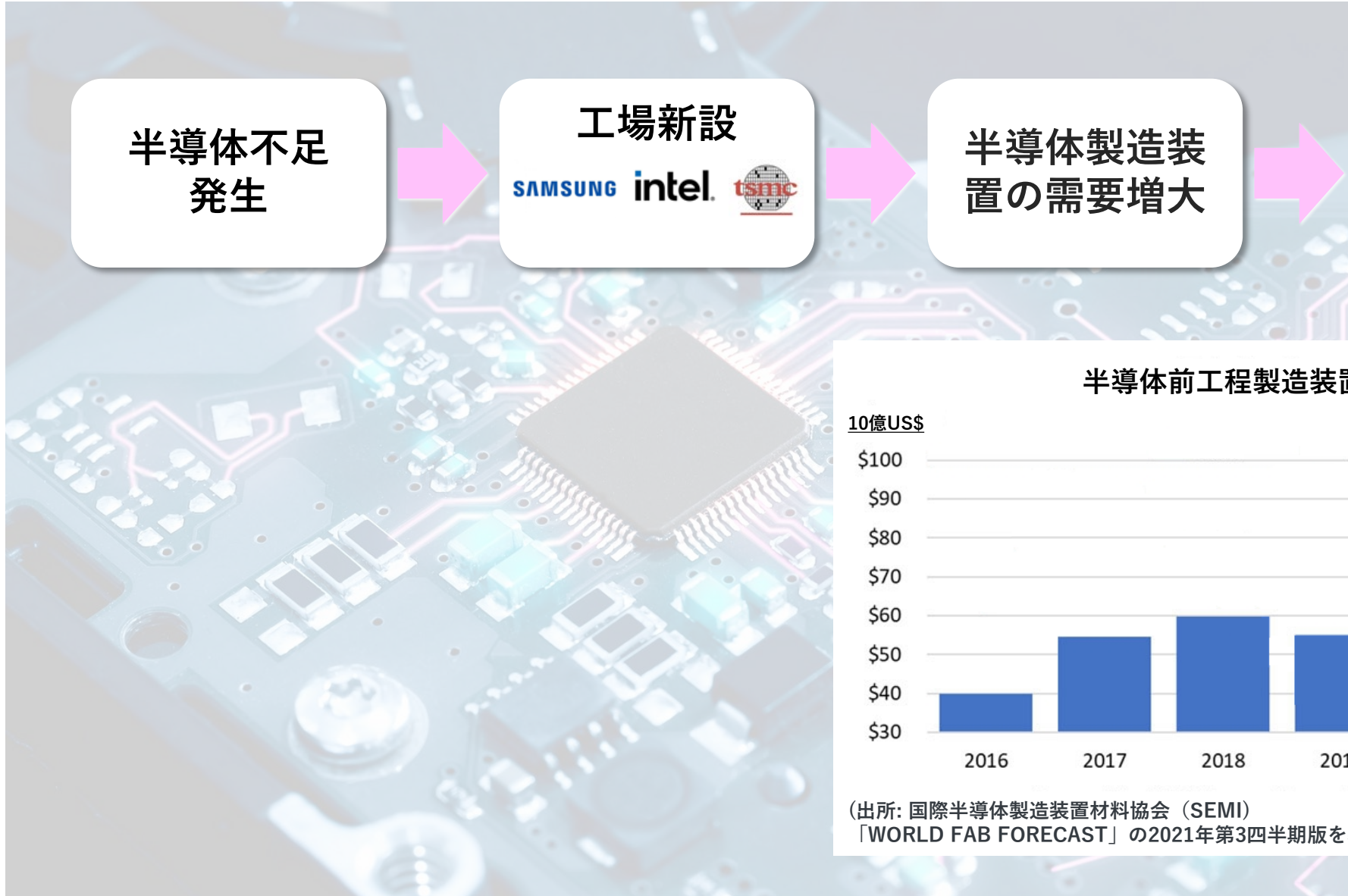
	2022年2月期通期		2022年2月期 1Q	2022年2月期 2Q	2022年2月期 1H	進捗率 (今回予想)
	前回予想 (4/12) A	今回予想 (10/14) B				
売上高	524	559	180	137	318	56.9%

<p>グローバルニッチ マーケット</p>	<p>5G (アイソレータ単結晶)</p> 	<p>半導体検査装置 (CW/QCW 213nmレーザー)</p> 	<p>放射能汚染モニタ (GPS単結晶)</p> 	<p>医療用ボタン電池 (単結晶個体電池材料)</p> 
	<p>競争優位性が 期待できる マスマーケット</p>	<p>MicroLED (フェムト秒レーザー)</p> 	<p>フォトマスク (描画用レーザー)</p> 	<p>レーザー照明 (蛍光体単結晶・デバイス)</p> 

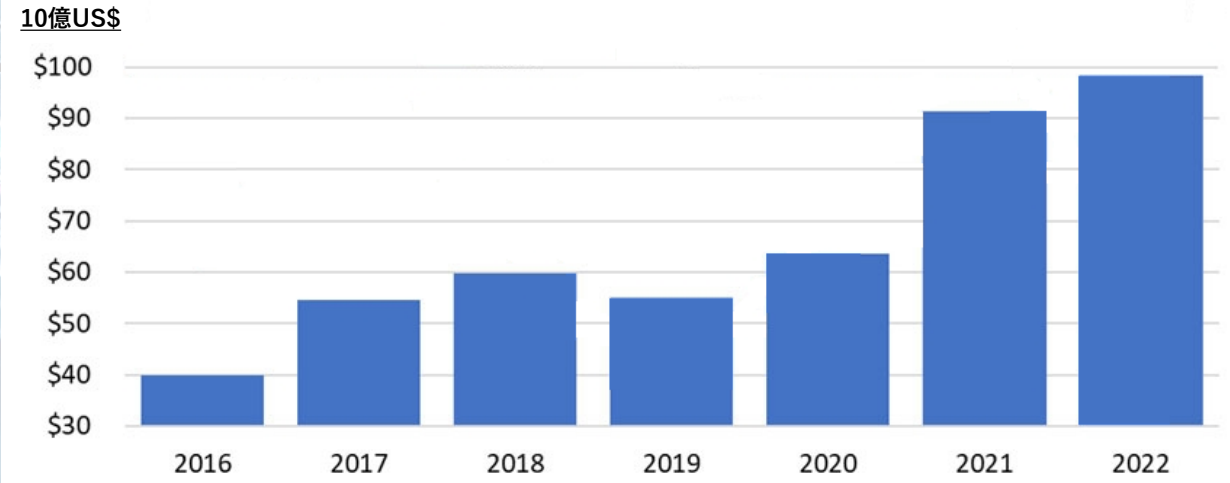
6月24日適時開示

6月18日適時開示

# 事業別説明【半導体】 - 業界動向



半導体前工程製造装置への投資額の推移



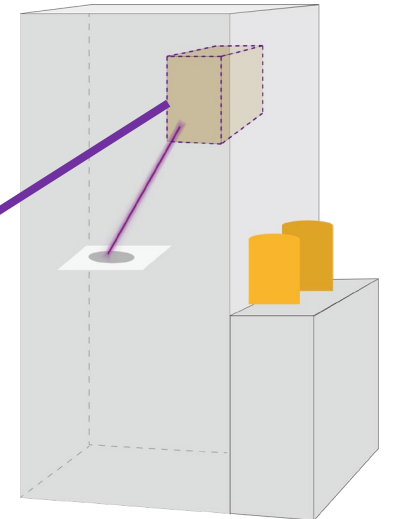
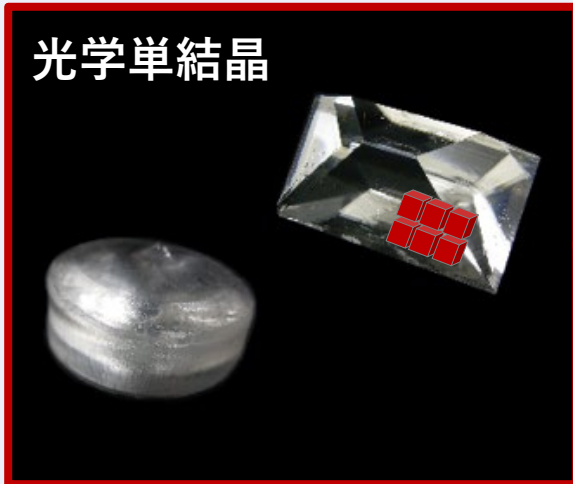
(出所: 国際半導体製造装置材料協会 (SEMI) 「WORLD FAB FORECAST」の2021年第3四半期版を基に弊社にて作成)

# 事業別説明【半導体】

(単位：百万円)

	2022年2月期通期		2022年2月期 1Q	2022年2月期 2Q	2022年2月期 1H	進捗率 (今回予想)
	前回予想 (4/12) A	今回予想 (10/14) B				
売上高	2,318	2,598	554	667	1,222	47.0%

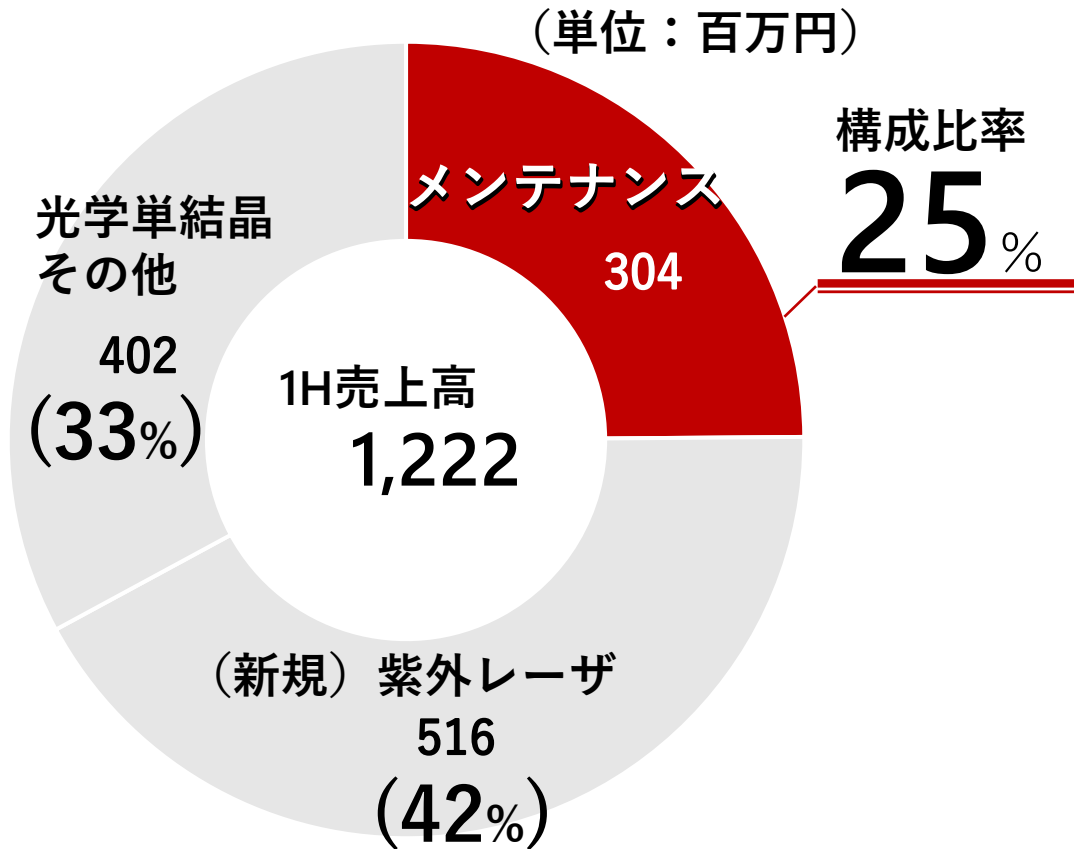
半導体ウエハ  
検査装置に用いる **当社の製品**



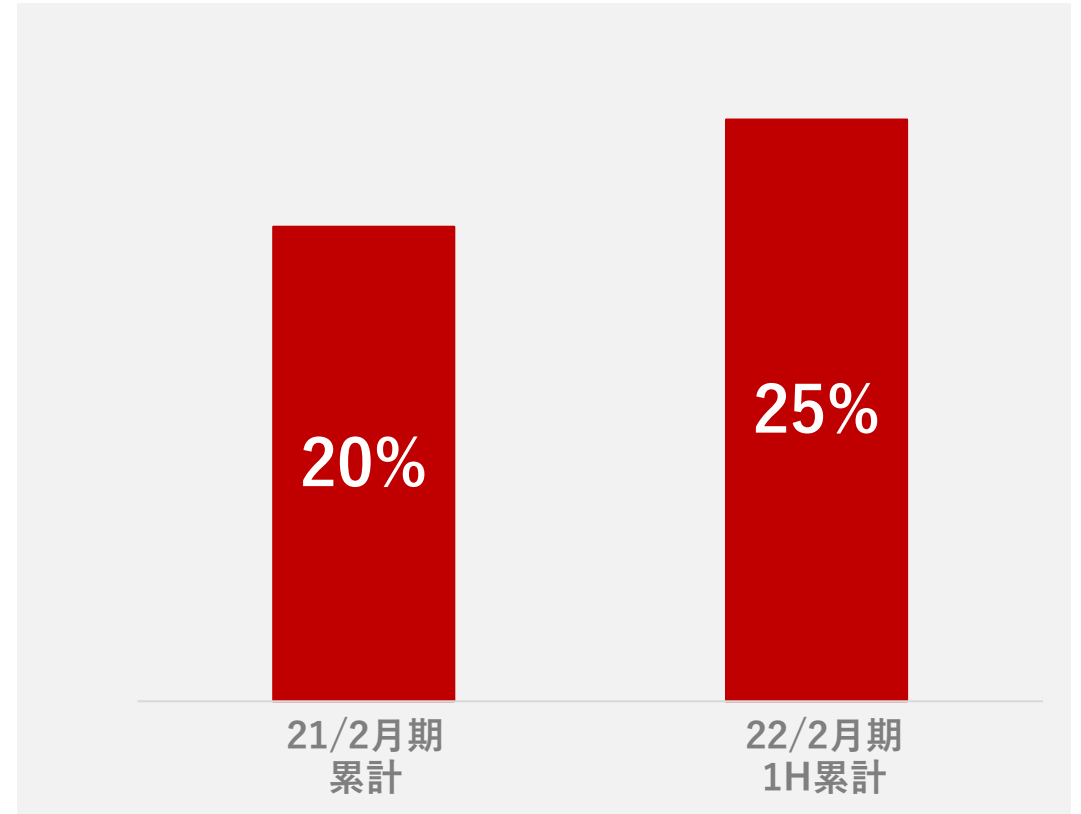
イメージ図：  
半導体ウエハ検査装置



# 事業別説明【半導体】 -メンテナンス売上げ



半導体事業 売上構成比： 22/2月期 1H



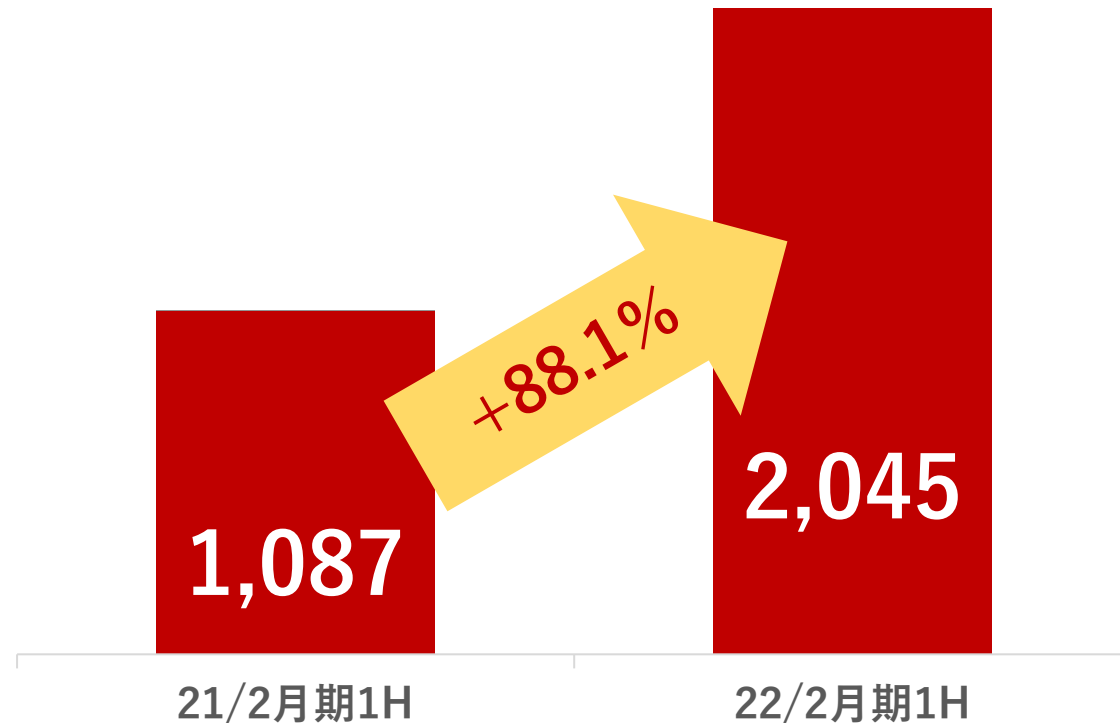
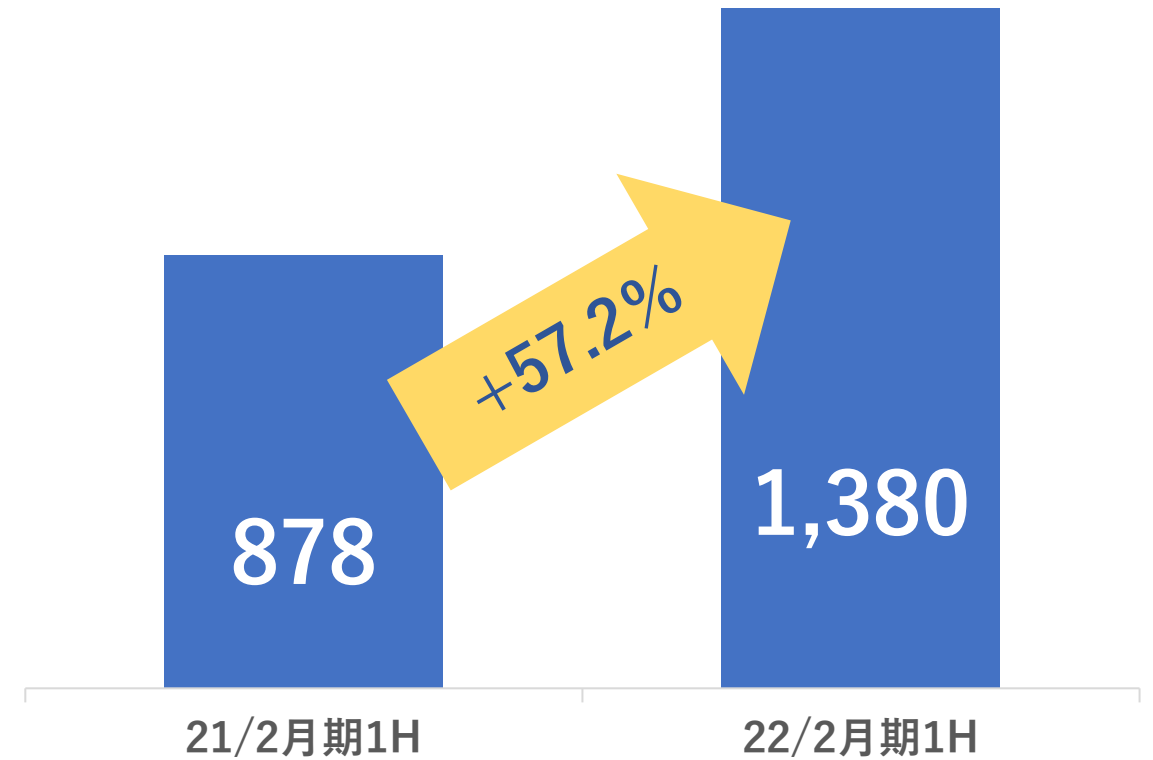
メンテナンス売上げ 構成比率推移

注) 21/2月期累計は年間売上高、22/2月期1H累計は6ヶ月間の売上高をベースにしています。

## 事業別説明【半導体】 - 受注高および受注残高

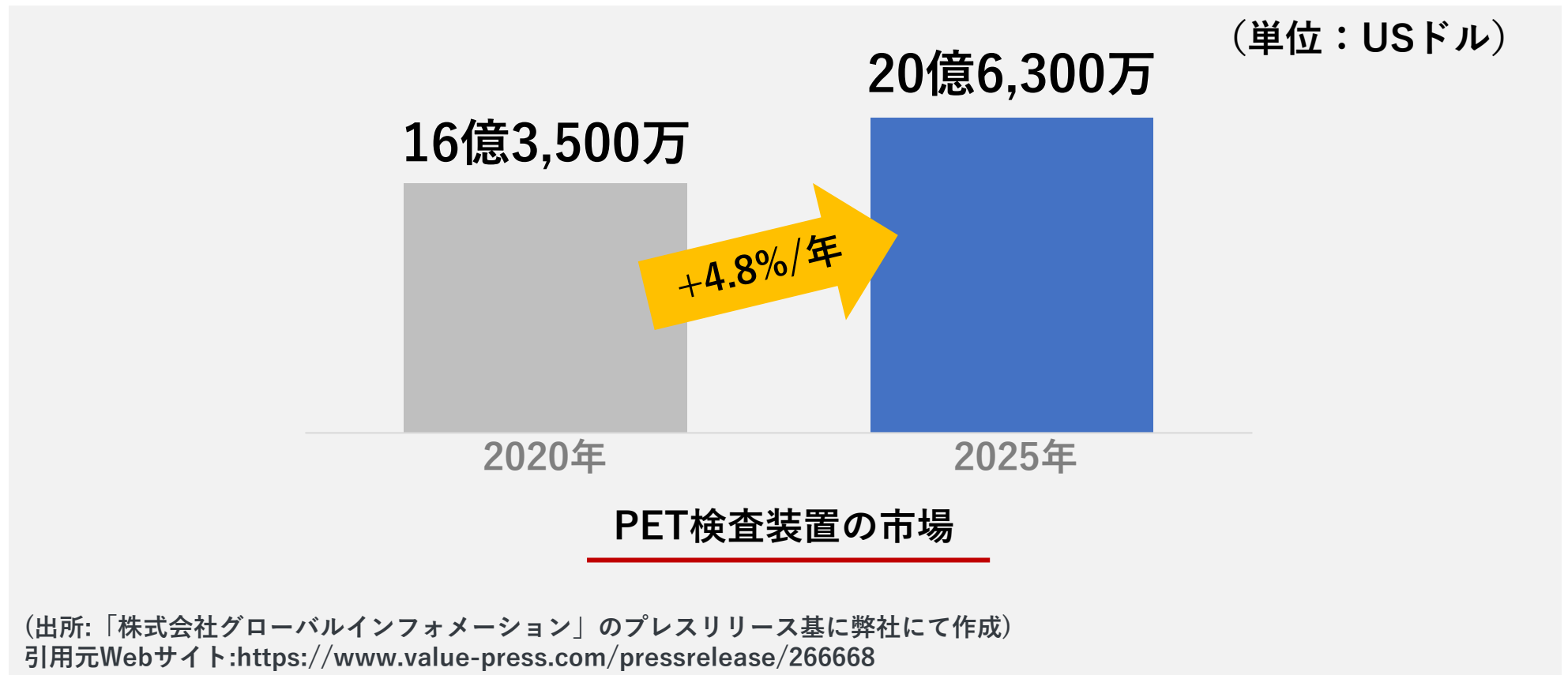
(単位：百万円)

(単位：百万円)

累計受注高推移受注残高推移

# 事業別説明【ヘルスケア】 - 業界動向

- ▶ PET検査装置の市場（Hybrid PET Imaging System Market）は、年平均成長率 4.8% と予想されています。



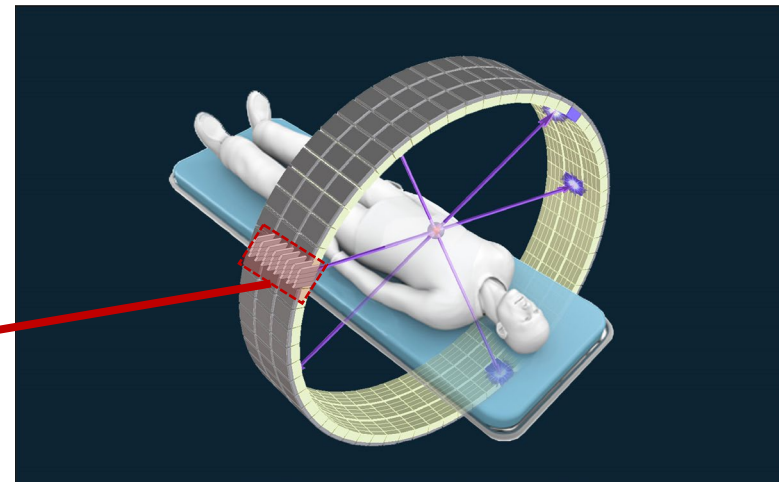
# 事業別説明【ヘルスケア】

(単位：百万円)

	2022年2月期通期		2022年2月期 1Q	2022年2月期 2Q	2022年2月期 1H	進捗率 (今回予想)
	前回予想 (4/12) A	今回予想 (10/14) B				
売上高	1,437	1,652	418	492	911	55.1%

PET検査装置  
に用いる

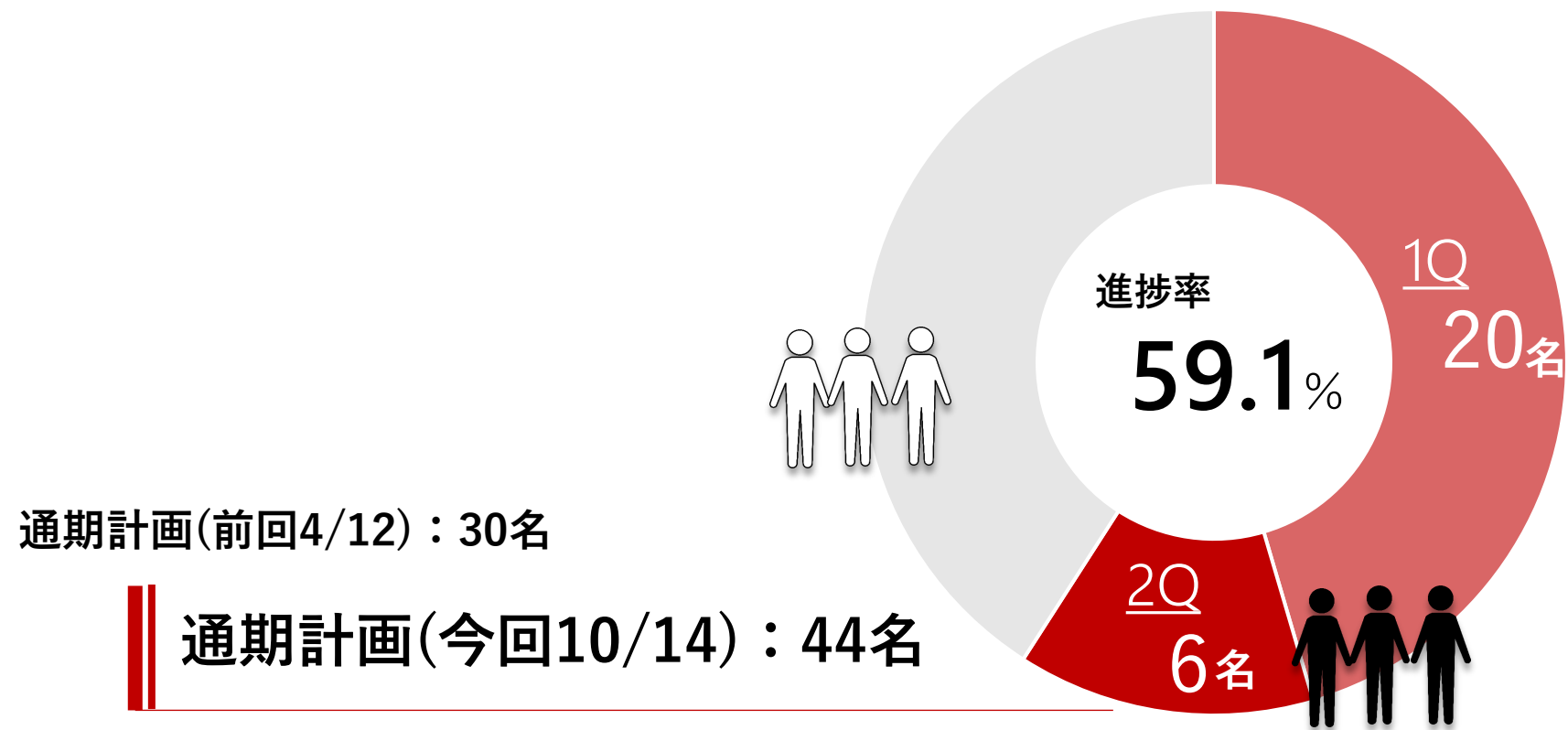
## 当社の製品



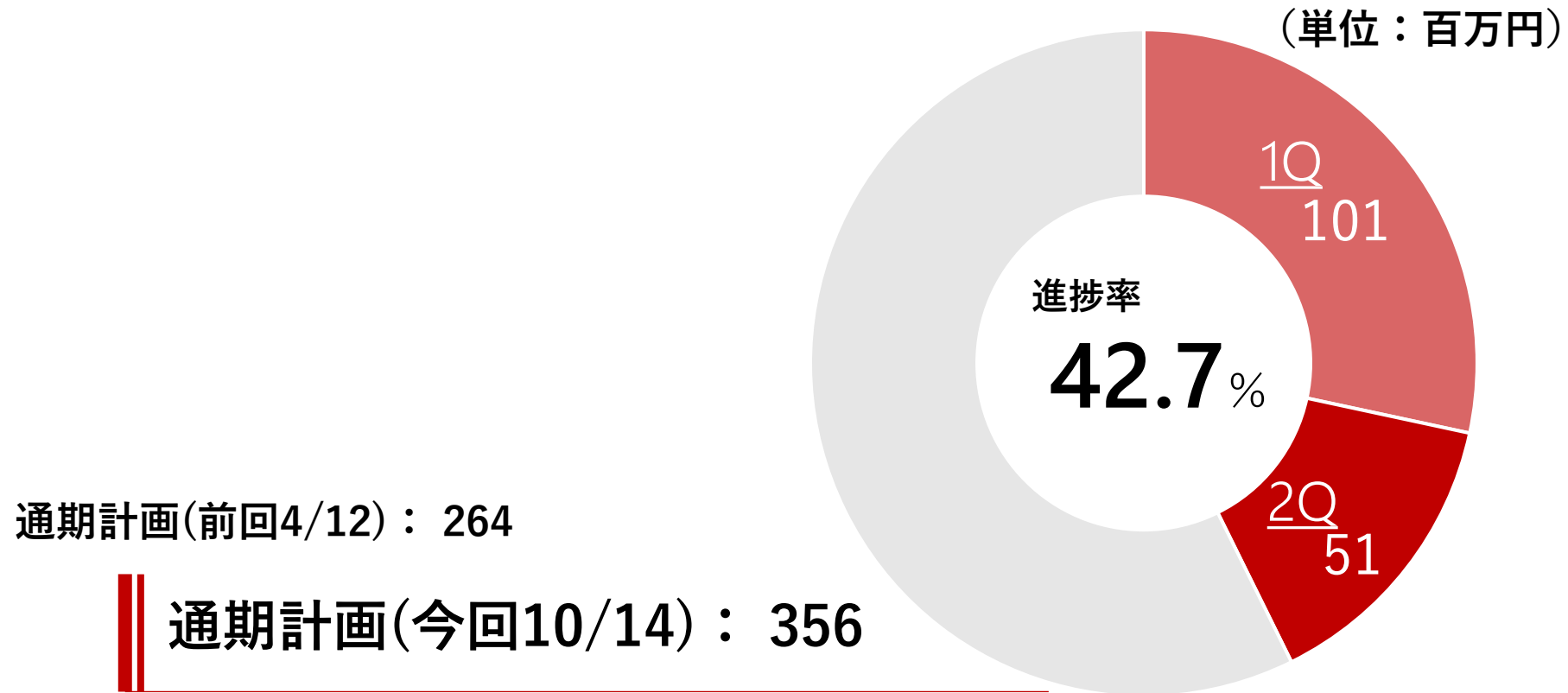
PET検査装置のしくみ

- 業績および進捗
- 事業別売上構成
- 貸借対照表
- 今期のこれまでのトピックス
- 第2四半期の財政状態、経営成績について
- 事業別説明【光計測・新領域 / 半導体 / ヘルスケア】
- **今期計画に対する進捗【人員 / 研究開発費 / 設備投資】**

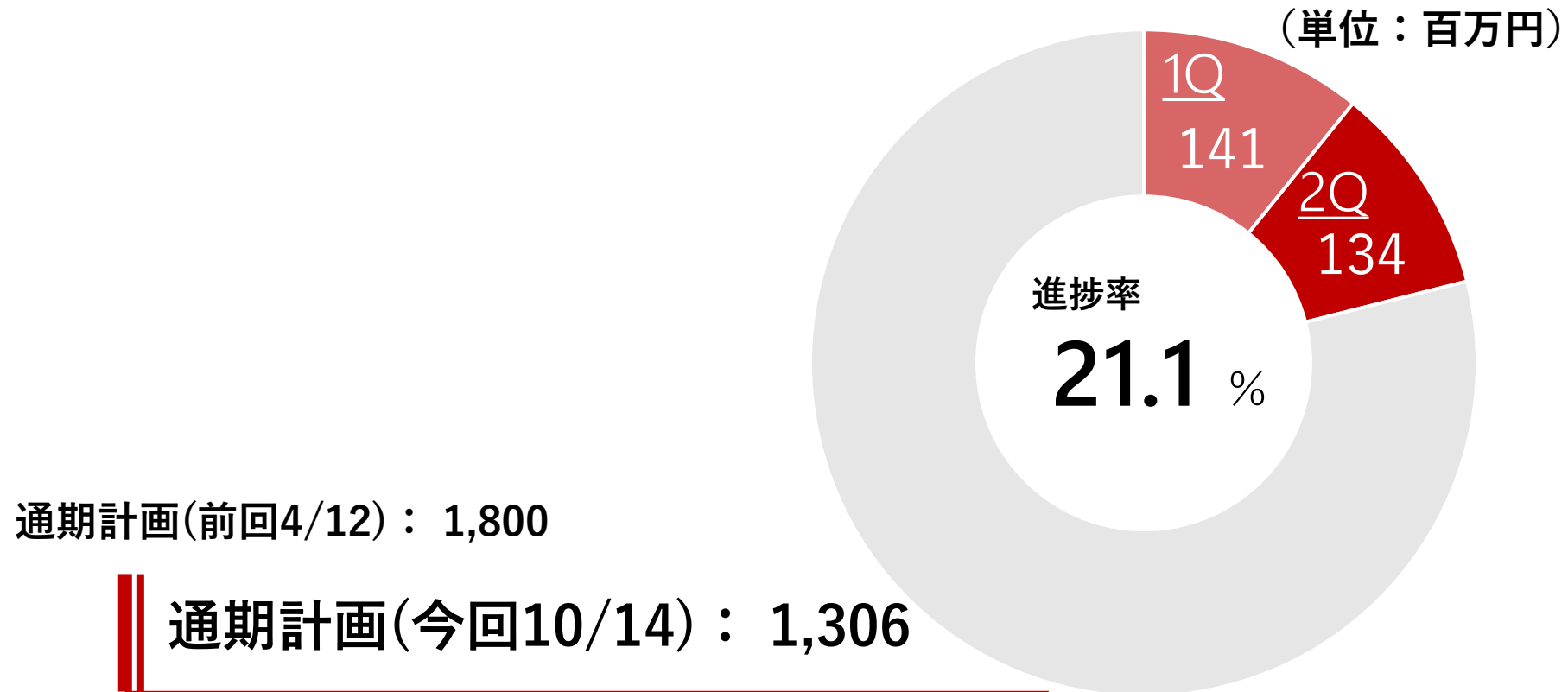
## 今期計画に対する進捗【人員】



## 今期計画に対する進捗【研究開発費】



## 今期計画に対する進捗【設備投資】





**OXIDE**

<https://www.opt-oxide.com>

# Appendix

## 業績推移（前年同期比）

（単位：百万円）

	2021年2月期 2Q	2022年2月期 2Q	前年同期比
売上高	671	1,298	193.3%
売上総利益	102	434	422.5%
販管費	168	219	130.4%
営業利益	△65	215	—
営業利益率	△9.7%	16.6%	—
営業外損益	△17	1	—
経常利益	△83	216	—
減価償却費合計	55	64	116.8%

# 市場区分選択

- ▶ 当社は、2022年4月4日に移行が予定されている新市場区分について、グロース市場を選択することといたしました。
- ▶ 当社は、現在の基準をクリアして、今年4月にマザーズ市場に新規上場いたしました。
- ▶ 今後、コーポレート・ガバナンス体制をはじめとした社内体制等をしっかり整えて、将来的にプライム市場を目指していきたいと考えております。



6月18日適時開示

## パワー半導体 | GaN基板用単結晶

- ▶ 開発したGaN基板用単結晶“SAM”について、プレスリリース以降、複数の企業・大学より問い合わせがありました。
- ▶ 一部顧客においてはGaN試作のプログラムが始まりました。
- ▶ 応用物理学会にて、SAM基板上のGaNの結晶成長と評価について、名城大学とオキサイドの共著での発表を行いました。



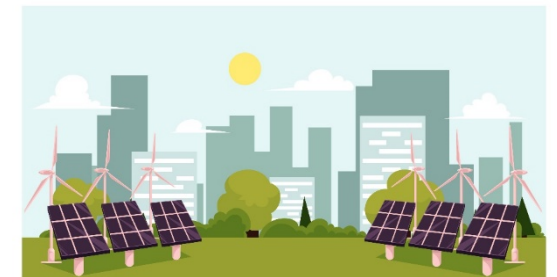
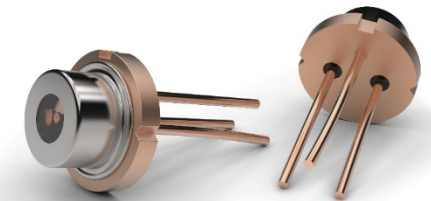
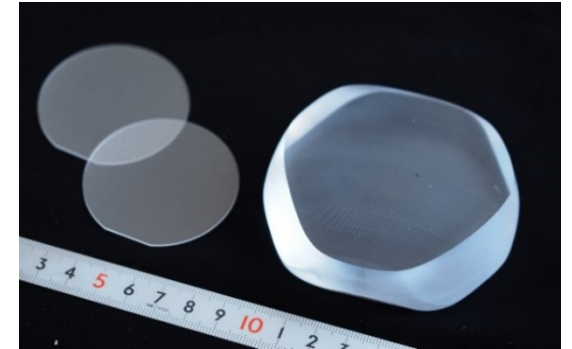
6月24日適時開示

## MicroLED | フェムト秒レーザ

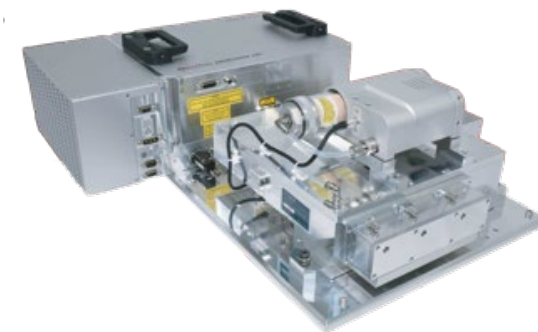
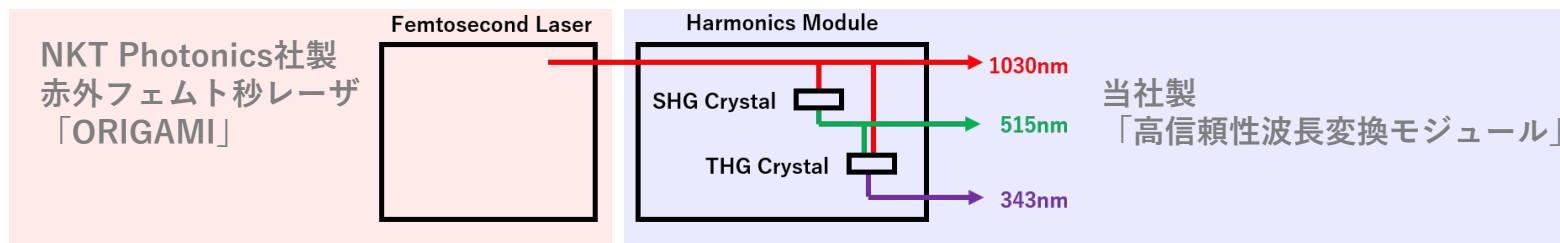
デンマークのNKT Photonics と共同で開発し2021年6月30日より国内において販売開始した紫外(UV)フェムト秒レーザ「OneFive ORIGAMI03XP-3P」は、顧客による評価が進んでいます。

※：SAM: ScAlMgO<sub>4</sub>単結晶基板

- SAMは、半導体材料であるGaN薄膜単結晶（以下GaN）の成長に適した単結晶基板です。
- SAMをGaN成長の基板として使うことで、完全性の高い膜を構成することが原理的に可能となり、高性能なGaNデバイスの実現が期待できます。
- GaNは、青色発光ダイオードとして普及していますが、最近では可視光レーザやパワーデバイス用の半導体材料としても研究開発がすすみ、一部で実用化が始まっております。
- 国内外の複数の機関へサンプル出荷をしています。



- NKT Photonics社との業務提携による共同開発製品化第一弾となります。
- 波長を同一レーザーヘッドから出力することができます。
- PC制御での波長選択が可能です。

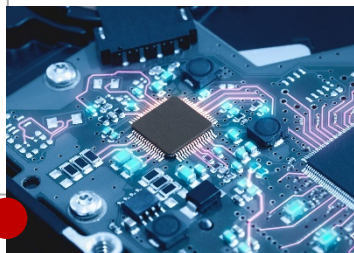
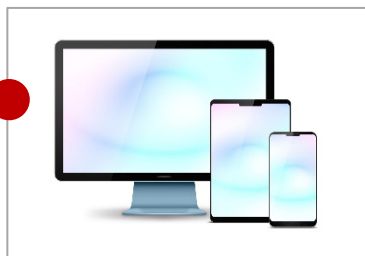


OneFive  
ORIGAMI03XP-3P

- 様々な分野での微細加工用レーザーとしての応用が期待されています。

ディスプレイ  
製造プロセス

集積回路、  
電子回路基板



太陽電池



医療用  
デバイス

# 事業別説明【光計測・新領域】 – SiC単結晶 –

➤ SiC単結晶は、従来のSiに比べ、送電時の電力ロスや交流・直流変換時の電力ロスを大幅に削減可能なパワー半導体材料で、カーボンニュートラルに向けた省電力化に極めて重要な材料である。

➤ SiCパワー半導体の市場は、2019年で約540億円、2025年で約2,500億円である※1。

※1：出所:Yole Developmentのデータを元に経産省が加工（デバイス部門）

➤ UJ-Crystalは、国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学宇治原徹教授が中心となり設立された、パワー半導体SiC単結晶の開発、製造、販売を目指すスタートアップ企業で、溶液法を用いてSiC単結晶を育成する。

➤ 溶液法は、当社が得意としている単結晶育成技術の内、高周波誘導加熱CZ法と技術的親和性が高い。

### Si・SiCの物性比較

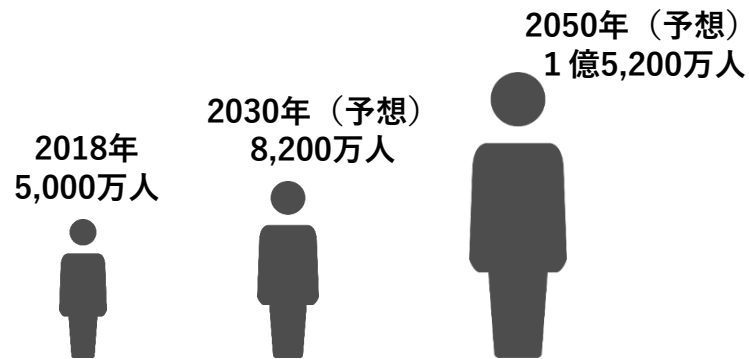
物性	Si	SiC
バンドギャップ eV	1.1	3.3
電子移動度 cm <sup>2</sup> /Vs	1350	700
破壊電界 MV/cm	0.3	3.0
Baliga's 性能指数※2 $\epsilon\mu_e E_c^3$	1	440

※2：Baliga's 性能指数：パワーFET通電効率



# 事業別説明【ヘルスケア】 今後の展望（頭部専用PETの動向）

- アルツハイマー型認知症の新たな治療薬が米国で承認されたことから、その診断に特化した頭部専用PETの本格的な需要の拡大状況を注視しつつ、具体的な対応を検討していきたいと考えています。
- アルツハイマー型認知症の患者数は、2020年時点で先進国で2,200万人、新興国で3,200万人です。年々増加しています。
- 頭部PET検査は、アルツハイマー型認知症の原因物質アミロイド $\beta$ の検査方法の一つです。



アルツハイマー型認知症人口（全世界）

出所:World Alzheimer Report  
2018(国際アルツハイマー病協会)





半導体



医療



パワー  
半導体

# 結晶と光で社会に貢献する Crystal Miracles by OXIDE



ディスプレイ



自動運転



5G